

宇都宮観光コンベンション協会 中期経営計画評価表（平成30年度実績）

平成31年4月1日現在

I 組織の概要

1. 基礎情報

所在地	宇都宮市中央3丁目1番4号		設立年月	平成12年4月1日	
市所管課	経済部 観光交流課		代表者	会長 増淵 正二	
ホームページアドレス	http://www.utsunomiya-cvb.org				
基本財産（資本金）	—		主な出資者	出資額	出資割合
	—		—	—	—
	—		—	—	—
市出資額	—		—	—	—
市出資割合	—		—	—	—
設立目的等	宇都宮市内に有する自然環境や文化的・経済的特性を活かして、観光客、コンベンションの誘致を行うことによって、観光、コンベンションの振興を図り、地域の活性化、文化の向上に資する。				
主な事業	1 誘致宣伝事業 2 観光推進，観光情報宣伝事業 3 コンベンション推進事業				
公益目的事業比率 （公益法人のみ）	—				

2. 組織・人員情報

役職員数	役員				職員					
	常勤	理事	1	うち市OB 1	正規職員等			嘱託・臨時職員等		
					再雇用職員 (フルタイム)	0	理事との 兼務 0	嘱託職員	7	うち市OB 0
非常勤	理事	18	0	派遣等 職員	市 1	0	臨時職員等 (アルバイト等 含む)	0	0	
	市以外	1	0	市OB職員	1	0				
計		21	1	計	7	0	計	8	0	
役員の平均年齢（歳）	—		役員の平均年収（千円）	—		情報公開制度の有無	○			
職員の平均年齢（歳）	43.8		職員の平均年収（千円）	5,826		個人情報保護体制の有無	○			

3. 財務状況

単位（千円）

【貸借対照表】	27年度決算	28年度決算	29年度決算	30年度決算	備考
資産	26,926	28,503	20,726	22,203	
負債	0	0	0	0	
（うち損失補償等額）	0	0	0	0	
純資産	26,926	28,503	20,726	22,203	
（うち利益剰余金）	0	0	0	0	

※一般財団等は、純資産を正味財産合計、利益剰余金を一般正味財産として読み替えています。

【損益計算書】	27年度決算	28年度決算	29年度決算	30年度決算	備考
総収入	56,529	63,546	80,698	86,056	
（うち市補助金等）	47,597	55,077	62,889	67,344	
（うち市委託料等）	0	0	0	0	
経常損益	0	0	0	0	
当期損益	0	0	0	0	

※一般財団等は、損益計算書を正味財産増減計算書、経常損益を当期経常増減額、当期損益を当期一般正味財産増減額として読み替えています。

【宇都宮観光コンベンション協会】

Ⅱ 各項目の取組状況

1. 事業の充実・重点化

No	取組項目	目標	基準値	実績値				
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
1	餃子・カクテル・ジャズの街としてのブランド強化による誘客促進	入込客数15,000千人	14,169千人	14,700千人	14,830千人	14,989千人	15,126千人	
2	ホームページによる情報発信力の強化	閲覧回数1,200千回	1,357千回	903千回	727千回	1,355千回	1,150千回	

2. 地域における公益的活動の推進

No	取組項目	目標	基準値	実績値				
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
3	観光関係団体に対する中間支援機能の強化	年間8件	7件	8件	8件	5件	5件	

3. 健全経営の維持と経営の更なる改善

No	取組項目	目標	基準値	実績値				
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
4 (共)	市からの補助金・負担金の適正化	継続的な見直し	実施	実施	実施	実施	実施	
5	自主財源の確保	自主財源比率34%	32%	38%	29%	33%	21%	

4. 組織・人員体制の強化

No	取組項目	目標	基準値	実績値				
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
6 (共)	常勤職員数の適正化	適正人員の確保	実施	実施	実施	実施	実施	
7	権利確保や収益事業推進に向けた組織のあり方の検討	適切な組織形態の確立	検討	検討	検討	検討	検討	
8	人材育成	ベテラン職員の人脈やノウハウを適切に引き継ぎ、事業を円滑に推進する。	実施	実施	実施	実施	実施	

Ⅲ 総合評価

<p>団体による 自己評価</p>	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「餃子・カクテル・ジャズの街としてのブランド強化による誘客促進」については、平成30年度は「ツーリズムEXPOジャパン」など大規模な催事をはじめとする国内プロモーションや商談会等に当協会会員とともに参加し、宇都宮市の食や文化、自然等の魅力を活用したプランを提案するなどのセールス活動を行った。 ・「ホームページによる情報発信力の強化」については、当協会ホームページの総アクセス数は微減となったものの、昨年度より開始したフェイスブックの総リーチ数は平成29年度の80,140回から今年度は193,097回へと大幅に増加しており、鮮度ある情報提供により宇都宮市の魅力を積極的にアピールした。 ・「観光関係団体に対する中間支援機能の強化」については、宇都宮カクテル倶楽部や宇都宮ジャズ協会などの観光関係団体の自主事業が充実したものとなるよう企画提案を行い、民間企業からの広告協賛などを得ることができた。 ・「市からの補助金・負担金の適正化」、「自主財源の確保」については、安定した自主財源の確保が可能となるよう、JR宇都宮駅構内の観光案内所における受託事業の拡大や会員の確保・増強に取り組み、会員数については前年度に引き続き微増となった。 ・「常勤職員数の適正化」、「権利確保や収益事業推進に向けた組織のあり方の検討」、「人材育成」については、適切な組織体制を確保するため、既存事業の見直しや更なる業務の効率化を進めた一方で、平成30年度については、職員退職に伴う管理運営費の増により、自主財源比率が目標値を下回る結果となった。 <p>⇒ いずれの取組についても概ね順調に進行しているが、自立的・安定的な経営基盤を確保するため、今後とも自主財源の確保に努めるとともに、事業体制の効率化を推進しながら、宇都宮市の観光振興に向けた効果的な事業を展開していく。</p> <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・増加する訪日外国人旅行者をはじめとする国内外旅行者の更なる取り込み ・観光ニーズを的確に捉えるマーケティング力と地域資源を活かすマネジメント力の強化 ・協会会員活動への積極的な支援による会員数の拡大 ・協会事業の安定的な運営を可能とする自主財源の確保
<p>所管課による 評価</p>	<p>【評価】</p> <p>本市の観光入込客数は、平成30年に1,512万人に到達するなど、順調に過去最高を更新した。そのようななか、平成30年度は、これまでの取組に加え、増加する外国人旅行者に対応するため、新たにインバウンド対応のエリアマップやホームページを作成したほか、テストステーション・キャンペーンでは宇都宮市DC推進委員会の事務局を担い、更なる観光誘客を図るため、観光キャンペーンや商談会等への観光プロモーションに精力的に取り組んだ。</p> <p>一方で、協会運営の課題である自主財源の確保については、会員の会費収入は微増したものの、依然として横ばいが続いていることから、引き続き、収入源の確保に取り組むとともに、時代の潮流や多様化する観光ニーズに対応可能な組織のあり方について、関係団体や有識者の意見を踏まえながら、検討を進める必要がある。</p> <p>今後は、餃子、ジャズ、カクテルなどの本市ならではの観光資源の更なる磨き上げや新たな観光資源の発掘など、本市への更なる誘客策の考案のほか、地元企業・関係団体等と連携した事業展開による地域経済の振興に取り組む必要がある。</p> <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京オリンピック・パラリンピックやいちご一会とちぎ国体など、今後実施される大型イベントを見据えた観光誘客事業やおもてなし事業の検討 ・民間事業者と連携した事業の実施 ・多様な媒体を活用した情報発信の強化 ・自主財源の確保のための取組実施 ・今後の協会の事業推進に適した組織のあり方検討 ・駅東コンベンション施設と連携したコンベンション機能の検討